

## 公共事業継続箇所評価調書

(様式 5)

評価確定日（令和7年9月30日）

事業コード	R7-建-継-10	区分	<input checked="" type="radio"/> 国庫補助 <input type="radio"/> 県単独
事業名	通常砂防事業	部局課室名	建設部 河川砂防課
事業種別	砂防事業	班名	砂防・防災チーム (tel) 0184-860-2518
路線名等	滝ノ沢2ほか4溪流	担当課長名	河川砂防課長 高杉 英幹
箇所名	由利本荘市赤田	担当者名	チームリーダー 金澤 和春
プランとの関連	戦略	防災減災・交通基盤	
	目指す姿	強靭な県土の実現と防災力の強化	
	施策の方向性	県民の生命と財産を守る安全な地域づくり	

## 1. 事業の概要

事業期間	H29～R13(15年)	総事業費	11.9億円	国庫補助率	1/2																																																		
事業規模	砂防えん堤工 N=7基、管理用道路工 L=555m																																																						
事業の立案に至る背景	<p>当溪流は由利本荘市赤田地内に位置し、保全対象として人家18戸、県道本荘岩城線（避難経路）、公民館（2戸）、寺院（1戸）を抱える土石流危険渓流である。平成25年7月13日の梅雨前線に伴う集中豪雨により、当溪流では山腹崩壊・渓岸侵食が進行し、保全人家間近まで土砂が流出する被害が発生している。流域内は荒廃が進行し、不安定土砂や倒木が堆積しており、豪雨等により土石流が発生した場合、人家・公民館等に甚大な被害が発生する恐れがある。</p> <p>本事業は、土砂災害から地域住民の生命・財産を保全し、安全・安心な地域を創出するため、砂防設備の整備により土石流灾害の防止を図るものである。</p>																																																						
事業目的	<p><b>【主たる目的】</b> 砂防設備の整備により、下流にある人家や重要公共施設を保全し、安全・安心な地域の創出を図る。</p> <p><b>【保全対象】</b> 人家18戸、県道本荘岩城線（避難経路）L=870m、公民館2戸、寺院1戸</p>																																																						
事業費内訳 事業内容 (単位:千円)	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>前回評価</th> <th>今回評価</th> <th>増減</th> <th>理由等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業費</td> <td>1,196,000</td> <td>1,196,000</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>経費</td> <td>工事費 830,000</td> <td>830,000</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>用補費 40,000</td> <td>40,000</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>内訳</td> <td>その他 330,000</td> <td>330,000</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>国庫補助 598,000</td> <td>598,000</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>財源内訳</td> <td>県債 538,200</td> <td>538,200</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>その他</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>一般財源 59,800</td> <td>59,800</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>事業内容</td> <td>本工事 詳細設計 測量調査 用地補償</td> <td>本工事 詳細設計 測量調査 用地補償</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>						前回評価	今回評価	増減	理由等	事業費	1,196,000	1,196,000			経費	工事費 830,000	830,000				用補費 40,000	40,000			内訳	その他 330,000	330,000				国庫補助 598,000	598,000			財源内訳	県債 538,200	538,200				その他					一般財源 59,800	59,800			事業内容	本工事 詳細設計 測量調査 用地補償	本工事 詳細設計 測量調査 用地補償		
	前回評価	今回評価	増減	理由等																																																			
事業費	1,196,000	1,196,000																																																					
経費	工事費 830,000	830,000																																																					
	用補費 40,000	40,000																																																					
内訳	その他 330,000	330,000																																																					
	国庫補助 598,000	598,000																																																					
財源内訳	県債 538,200	538,200																																																					
	その他																																																						
	一般財源 59,800	59,800																																																					
事業内容	本工事 詳細設計 測量調査 用地補償	本工事 詳細設計 測量調査 用地補償																																																					
事業の進捗状況	<p>全体計画 11.96億円 令和6年度末未投資額 6.34億円 進捗率 53.0%</p>																																																						
事業推進上の課題	特になし																																																						
関連する計画等	「～大変革の時代～新秋田元気創造プラン」において、6つの重点戦略とあわせて推進する基本政策として「強靭な県土の実現と防災力の強化」が位置づけられている。																																																						
情勢の変化及び長期継続の理由	特になし																																																						
事業効果把握の手法及び効果	<table border="1"> <tr> <td>指標名</td> <td colspan="4">土砂災害警戒区域（人家5戸以上）に対するする概成率 (%)</td> </tr> <tr> <td>指標式</td> <td colspan="4">対策済み区域数／土砂災害警戒区域数 (%)</td> </tr> <tr> <td>指標の種類</td> <td><input checked="" type="radio"/> 成果指標</td> <td><input checked="" type="radio"/> 業績指標</td> <td>低減指標の有無</td> <td><input checked="" type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無</td> </tr> <tr> <td>目標値a</td> <td colspan="2">16.3%</td> <td>データ等の出典</td> <td>河川砂防課調べ</td> </tr> <tr> <td>実績値b</td> <td colspan="2">16.3%</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成率b/a</td> <td colspan="2">100.0%</td> <td>把握の時期</td> <td>令和7年3月</td> </tr> </table>					指標名	土砂災害警戒区域（人家5戸以上）に対するする概成率 (%)				指標式	対策済み区域数／土砂災害警戒区域数 (%)				指標の種類	<input checked="" type="radio"/> 成果指標	<input checked="" type="radio"/> 業績指標	低減指標の有無	<input checked="" type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無	目標値a	16.3%		データ等の出典	河川砂防課調べ	実績値b	16.3%				達成率b/a	100.0%		把握の時期	令和7年3月																				
指標名	土砂災害警戒区域（人家5戸以上）に対するする概成率 (%)																																																						
指標式	対策済み区域数／土砂災害警戒区域数 (%)																																																						
指標の種類	<input checked="" type="radio"/> 成果指標	<input checked="" type="radio"/> 業績指標	低減指標の有無	<input checked="" type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無																																																			
目標値a	16.3%		データ等の出典	河川砂防課調べ																																																			
実績値b	16.3%																																																						
達成率b/a	100.0%		把握の時期	令和7年3月																																																			

前回評価結果	<input checked="" type="radio"/> 選定または継続 <input type="radio"/> 改善 <input type="radio"/> 見直し <input type="radio"/> 保留または中止
	<b>①指摘事項</b> 特になし

前回評価結果	<b>②指摘事項への対応</b> 特になし
--------	--------------------------

## 2. 所管課の自己評価

観 点	評価の内容（特記事項）	評 価 点
必 要 性	土石流危険渓流が集中した区域であり、各渓流で山腹崩壊や渓岸侵食による荒廃が進み、渓床には多くの不安定土砂や倒木が堆積していることから、土石流発生の危険性が高い。 また、土石流が発生した場合、人家のみならず、県道本荘岩城線（避難経路）が被災し、赤田地区等の住民が避難所へ移動することが困難になるため、事業の必要性は高い。	17点
緊 急 性	平成25年7月の豪雨により、土砂流出が発生しており、流域内には多くの不安定土砂や倒木が堆積している。今後の豪雨等により、甚大な土砂災害が生じる恐れがあるため、早急な整備が必要である。	30点
有 効 性	砂防設備の整備により、多数の人家や公共施設を保全することができるため、有効性が高い。	10点
効 率 性	事業の費用便益費は2.26であり効率性は極めて高い。 残存型枠工による施工など、コスト縮減に対して積極的に取り組んでいく。	20点
熟 度	平成25年7月の豪雨による土砂流出を受け、地元住民の防災意識が高く、当該事業における合意形成がとれている。由利本荘市においても土砂災害等への危機管理意識が高く、事業への必要性を認識している。	18点
判 定	<b>ランク</b> ( ● I ○ II ○ III ) 土砂災害から人命・財産を保全するには砂防事業が最適であると判断できるため、早期の事業実施が必要である。	95点
総 合 評 価	<input checked="" type="radio"/> 継続 <input type="radio"/> 改善して継続 <input type="radio"/> 見直し <input type="radio"/> 中止 事業の継続は妥当である。	

## 3. 評価結果の当該事業への反映状況等（対応方針）

残存型枠工による施工等コスト縮減に努めながら、事業を継続する。

## 4. 公共事業評価専門委員会意見

県の対応方針を可とする。

別表6 (28)

## 公共事業箇所評価基準

**評価種別** 繼続箇所評価  
**適用基準名** 砂防事業

**事業コード** (R7-建-継-10 )  
**箇 所 名** (由利本荘市赤田 )

## 1. 評価内訳

観点	評価項目 細別	評価基準	配点	評価点	摘要
必要性	災害発生時の影響 (被害想定)				
	人家戸数	20戸以上	10	7	人家18戸
		5戸以上19戸以下	7		
		1戸以上4戸以下	3		
		なし	0		
	公共・公益施設	以下の公共・公益施設がある 要配慮者利用施設 重要交通 (緊急輸送道路、避難路、鉄道) 防災拠点 (警察、消防、役場等) ライフライン施設 (電力、ガス、水道等)	10	10	県道本荘岩城線 (避難経路、バス路線) 公共・公益施設 (赤田下公民館、東光館、赤田の大仏)
		その他の公共・公益施設がある	5		
		なし	0		
	計		20	17	
緊急性	災害実績				
	過去の災害発生履歴	過去の災害発生履歴あり	5	5	平成25年7月の梅雨前線豪雨により土石流が発生し、保全人家裏まで土砂が到達した
		なし	0		
	災害発生の危険度				
	想定される流出土砂量	1,000m³以上	10	10	計画流出土砂量7,067m³
		1,000m³未満	5		
	想定される流出木量	20m³以上	10	10	計画流出木量104m³
		20m³未満	5		
	荒廃面積	流域面積の10%以上	5	5	荒廃率10.06%
		流域面積の10%未満	3		
有効性	計		30	30	
	関連計画への貢献				
	秋田県防災・減災・国土強靭化計画	計画に関連する事業である	5	5	記載あり
		上記以外の事業である	0		
	ソフト対策との関連性				
	土砂灾害警戒区域等の指定状況	土砂灾害特別警戒区域に指定	5	5	土砂灾害警戒区域及び土砂灾害特別警戒区域に指定済
		土砂灾害警戒区域に指定	3		
		なし	0		
	計		10	10	
効率性	費用対効果				
	費用便益費 (B/C)	1.0以上	10	10	B/C 2.26
		1.0未満	0		
	事業実施コストの縮減				
	コスト縮減の具体的計画	あり	5	5	残存型枠施工等の利用を検討し、コスト縮減を図る
		なし	0		
	前回計画との比較				
	前回計画事業費からの縮減	減少又は10%未満の増加	5	5	増減なし
		10%以上30%未満の増加	3		
		30%以上の増加	0		
熟度	計		20	20	
	事業の進捗状況				
	今後の進捗見込み	課題はなく順調な進捗が見込まれる	10	10	
		課題はあるが当面の進捗に影響はない	6		
		課題があり、事業の停滞が懸念される	0		
	事業の進捗状況				
	進捗率 (事業費)	8割以上完了	10	8	(R6末) 6.34億円 / (計画) 11.96億円 =53.0%
		5割以上完了	8		
		1割以上完了	5		
		1割未満	2		
	計		20	18	
	合計		100	95	

## 2. 判 定

ランク	判定内容	配点	判定	摘要
I	優先度がかなり高い	80点以上		
II	優先度が高い	60点以上80点未満		
III	優先度が低い	60点未満		